

2022（令和4）年度実績

御前崎市環境報告書

第2次御前崎市環境基本計画
御前崎市地球温暖化対策実行計画
（区域施策編）



御 前 崎 市

第2次環境基本計画とは



■ 深刻化する環境問題の解決に向けて

御前崎市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然環境に恵まれ、その恵みを受けながら地域固有の文化を大切に守り育ててきました。

しかしながら、近年では社会経済活動の拡大、生活様式の変化などに伴い、生活雑排水による水質汚濁や自動車からの排気ガスなどの公害、身近な自然の減少などの問題が顕著になってきています。

私たちは、この自然環境に恵まれた中で住みよい生活を確保するため、環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築しなければなりません。



最近では猛暑や集中豪雨など、地球温暖化が原因と考えられる自然災害が増えています。

社会情勢や環境政策の方向性が大きく変化しています！

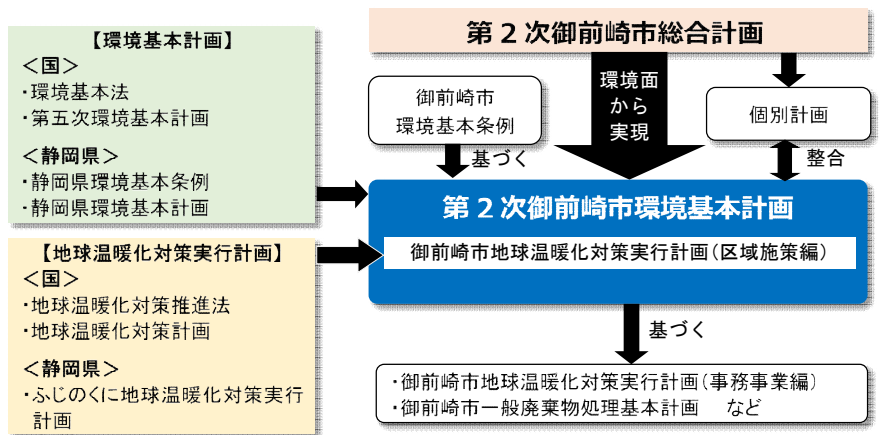
- ✓ 省エネルギーや再生可能エネルギーへの関心の高まり
- ✓ 国連の持続可能な開発目標（SDGs）の浸透
- ✓ 地球温暖化対策の新たな枠組みである「パリ協定」の採択・発効
- ✓ 廃プラスチック問題、食品ロスへの関心の高まり など



■ 総合計画を環境面から推進

本計画の目的は、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境のあり方や、市民・事業者・滞在者・行政（市）の取り組みを明らかにすることです。

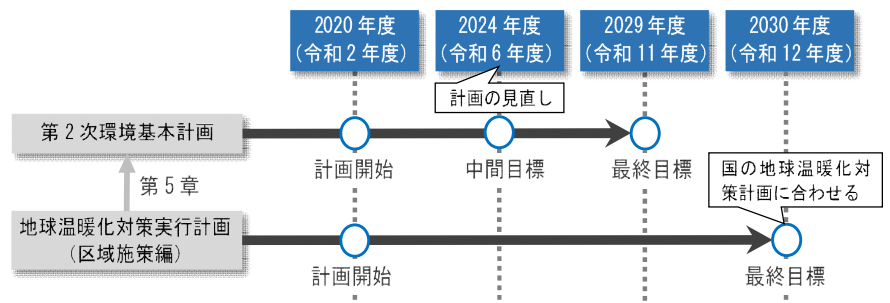
また、本計画は、「御前崎市環境基本条例」、「地球温暖化対策推進法」に基づく計画であるとともに、「御前崎市総合計画」を環境面から推進するものとして位置付けています。



■ 10年後を見据えた計画

計画期間を2020（令和2）年度から2029（令和11）年度までの10年間とし、2024（令和6）年度に見直しを行います。

「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の目標年度は、国の「地球温暖化対策計画」の目標年度と合わせて2030（令和12）年度とします。



■ みんなの連携・協力が不可欠

本計画を推進していくためには、市・市民・事業者・滞在者の各主体がそれぞれの役割を果たし、お互いに連携・協力していくことが必要です。



温室効果ガス排出量の削減目標と現状



1-1 削減目標

本区域施策編では国の削減目標に合わせて、2013（平成 25）年度を基準とし、中期目標として 2030（令和 12）年度に 26%削減、長期目標として 2050（令和 32）年度に 80%削減という目標を設定します。

1-2 2020（令和 2）年度の排出量と推移

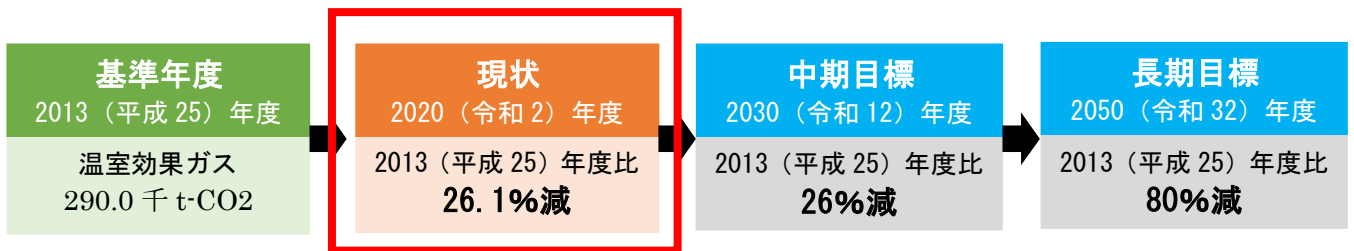
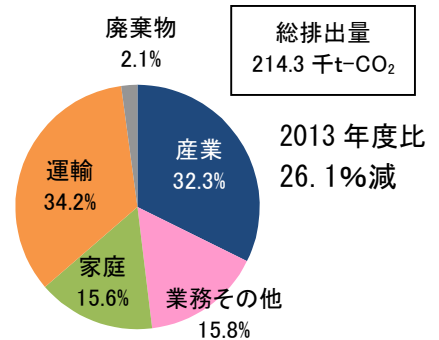
本市における 2020（令和 2）年度の温室効果ガス排出量は 214.3 千 t-CO₂ でした。

部門・分野別にみると、産業部門が 32.3%を占めており、次いで運輸部門（34.2%）、業務その他部門（15.8%）、家庭部門（15.6%）となっています。

基準年度である 2013（平成 25）年度からの推移をみると 26.1%減少しています。部門・分野別では、基準年度より増加しているのは廃棄物分野であり、その他の部門では減少傾向にあります。

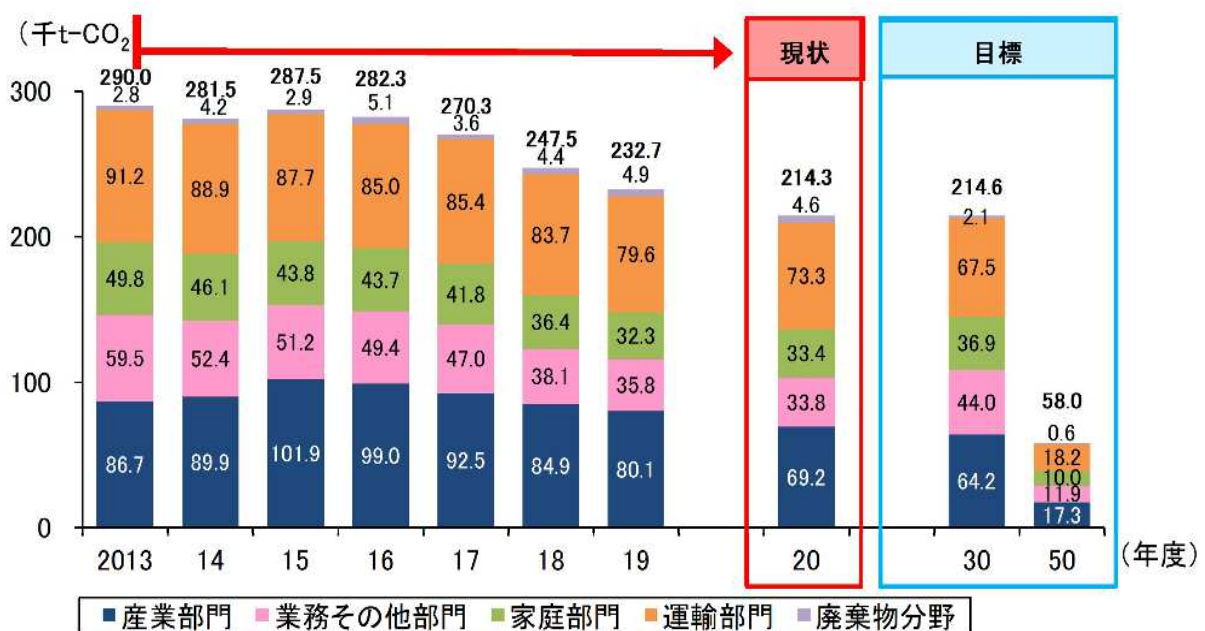
※環境省公表最新数値：令和 2 年度

御前崎市の市域からの温室効果ガス排出量（2020（令和 2）年度）



↑ 現状値では 2030 年度の中期目標を達成。国の目標値が引き上げられており今後市の目標値も見直しを予定していることから、更なる取り組みの加速化が求められている。

温室効果ガス排出量の推移（単位：千 t-CO₂）



注) 端数処理の関係上、各温室効果ガス排出量の和や比が合計値や基準年度比と合わない場合がある。

【資料：環境省・地方公共団体実行計画（区域施策編）策定支援サイト】

計画の全体像



望ましい環境像の実現に向けて、総合的かつ計画的に取り組みを推進しています。

本計画の上位計画である「第2次御前崎市総合計画」の将来都市像は、「子どもたちの夢と希望があふれるまち 御前崎」であり、この将来都市像を環境面から実現するため、「**守ろう 豊かな自然 創ろう 次世代へつなぐまち 御前崎**」を望ましい将来像として掲げます。

望ましい環境像	環境目標	取り組みの方向	取り組み項目
守 う ろ 豊 な か 自 然 創 う ろ 次 世 代 へ つ な ぐ ま ち 御 前 崎	【環境目標1】 自然環境の保全と 生物多様性の確保	1 きれいな海と川をまもる	①海岸の総合的な環境保全 ②海岸林・海岸植生の保全 ③海岸・河川の美化 ④水産資源の保全・活用 ⑤水資源の保全
		2 緑豊かな森林と農地を まもる	①森林・樹木の保護 ②森林の適正管理と木材の利用促進 ③計画的な農地の保全と基盤の整備 ④遊休農地の活用 ⑤地産地消及び環境保全型農業の推進
		3 多様な生きものと 共生する	①野生動植物の保護・管理 ②外来種等の防除及び飼養動物の適正管理
	【環境目標2】 快適環境の保全と創造	4 自然・景観・歴史に親しむ	①自然とのふれあいの促進 ②良好な景観形成の推進 ③歴史・文化的遺産の保護及び継承
		5 公園・緑地をまもる	①公園・緑地の整備と適正管理及び促進 ②緑化の推進
	【環境目標3】 安全・安心な 生活環境の保全	6 公害を防ぐ	①公害の防止 ②有害化学物質対策の推進
		7 空気や水をきれいにする	①大気汚染対策の推進 ②悪臭・騒音・振動対策の推進 ③水質汚濁対策の推進
	【環境目標4】 資源の循環利用	8 ごみの減量とリサイクルを すすめる	①計画的な廃棄物対策と適正処理 ②リデュース・リユースの推進 ③リサイクルの推進 ④グリーン購入の推進 ⑤不法投棄対策の推進 ⑥環境美化の推進
	【環境目標5】 地球環境の保全	9 地球温暖化を止める	①総合的な地球温暖化対策・エネルギー 対策の推進 ②省エネルギーの推進と再生可能 エネルギーの導入・促進 ③環境負荷の少ない交通の普及
	【環境目標6】 環境教育・ 環境保全活動の推進	10 環境を知る・学ぶ・ 活動する	①環境教育・環境学習 ②環境保全活動の推進 ③環境情報の積極的な提供と環境情報拠 点づくり

環境基本計画の進捗状況（2022 年度の実績）

■ 数値目標の見方

環境指標		環境基本計画第 4 章主体別の取組の「環境指標」を示しています。	
定義		環境基本計画第 4 章主体別の取組の「環境指標」の定義について示しています	
数値目標	H30	策定時	2018(平成 30)年度の数値です。
	R4	現状	2022(令和 4)年度の実績値です。
		目標	2024 年度中間目標から逆算した 2022(令和 4)年度目標を示しています。
	評価	2022(令和 4)年度の実績値を対象として、2022(令和 4)年度目標に対する評価を示しています。 ★:達成率 0～49% ★★:達成率 50～79% ★★★:達成率 80～99% 目標達成:達成率 100%以上	
	R6	中間目標	2024(令和 6 年)年度の中間目標を示しています。
R11	最終目標	2029(令和 11)年度最終目標を示しています。	
担当課		担当課名です。	
現状値の説明		現状値の状況や過年度との比較などの説明です。	

■ 市の取り組みの見方

2022(令和 4)年度実績と担当課を示しています。

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



1 きれいな海と川をまもる

■数値目標と評価

環境指標	ウミガメ指定地域※・海岸清掃ボランティア数			人/年
定義	ウミガメ指定地域※の海岸清掃に参加したボランティアの人数			
数値目標	H30	策定時	152 人/年	
	R4	実績	552 人/年	
		目標	317 人/年	
		評価	目標達成:達成率 174.1%	
	R6	中間目標	400 人/年	
R11	最終目標	600 人/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	学校行事での美化活動や市内団体の協力もあり、目標を達成することができた。 ※ウミガメ指定地域・・・国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」			

環境指標	海岸清掃・緑の少年団参加者数			人/年
定義	海岸清掃に参加した緑の少年団の人数			
数値目標	H30	策定時	300 人/年	
	R4	実績	0 人/年	
		目標	300 人/年	
		評価	★:達成率 0%	
	R6	中間目標	300 人/年	
R11	最終目標	300 人/年		
担当課	農林水産課			
R4 評価コメント	新型コロナウイルス感染症対策のため海岸清掃を中止した。			

環境指標	海岸林整備・ボランティア参加者数			人/年
定義	海岸林を整備したボランティアの人数			
数値目標	H30	策定時	170 人/年	
	R4	実績	159 人/年	
		目標	200 人/年	
		評価	★★:達成率 79.5%	
	R6	中間目標	200 人/年	
R11	最終目標	200 人/年		
担当課	農林水産課			
R4 評価コメント	4つの地区でボランティア植樹事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症対策で募集定員を減らしたため、目標達成には至らなかった。			

環境指標	海岸部への不法投棄箇所数			箇所/年
定義	不法投棄防止パトロールにより発見報告された不法投棄箇所数(海岸部)			
数値目標	H30	策定時	3箇所/年	
	R4	実績	0箇所/年	
		目標	0箇所/年	
		評価	目標達成:達成率 100%	
	R6	中間目標	0箇所/年	
R11	最終目標	0箇所/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	ビーチクリーンにより海岸がきれいになっていることや、不法投棄防止パトロールの成果により、良い結果となった。このまま維持していきたい。			

環境指標	河川愛護参加人数			人/年
定義	河川の清掃活動等に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	3,449人/年	
	R4	実績	4,021人/年	
		目標	3,500人/年	
		評価	目標達成:達成率 114.9%	
	R6	中間目標	3,500人/年	
R11	最終目標	3,500人/年		
担当課	建設課			
R4 評価コメント	市民意識の高まりもあり、補助金を活用し河川愛護活動を実施する団体が増加したため、目標達成することができた。			

【評価(4段階)】令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■市の取り組み(2022年度の実績)

①海岸の総合的な環境保全

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	静岡県海岸保全基本計画と連携し、遠州灘及び駿河湾沿岸の総合的な保全を図ります。	遠州灘沿岸浸食対策検討委員会及び勉強会に計2回参加した。	建設課
		御前崎市海岸防災林保護組合と連携して遠州灘砂浜へ堆砂垣9,300m(1回)を行った。	農林水産課
◇	浜岡砂丘を含む遠州灘沿岸の海岸浸食に対し、沿岸自治体が連携して復旧及び保全対策に取り組めるよう国や県に働きかけます。	国や県への働きかけは行っていないが、遠州灘沿岸に関連する市が連携して、海岸浸食が進む浜岡砂丘並びに遠州灘海岸の復旧及び保全対策に努めた。	建設課
		遠州灘沿岸に関連する市が連携して、海岸浸食が進む浜岡砂丘並びに遠州灘海岸の復旧及び保全対策に取り組み、国や県に働きかけている。	農林水産課
◇	県と連携し、御前崎遠州灘県立自然公園の保護に努めます。	自然保護2種地域に関して、内容を精査し県へ7件進達をした。	管理課

②海岸林・海岸植生の保全

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	市民組織と協働で飛砂防備保安林等の保全に取り組みます。	飛砂防備保安林へ市民組織が静砂垣1箇所、堆砂垣1箇所を設置し、保安林の保全に取り組んだ。	農林水産課
◆	海岸防風林の松枯れ対策を進めると共に、竹林の不要な拡大防止を図り、海岸環境の保全に努めます。	松くい虫防除事業により、枯れ松240m ³ を伐倒処理し、薬剤散布2回を実施した。	農林水産課
◇	海岸部には、ハマボウフウやハマヒルガオなど海岸部固有の植生の形成もあり、市民と協働で保全活動に努めます。	新型コロナウイルス感染症防止のため、活動が自粛となった。	農林水産課

③海岸・河川の美化

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	河川堤防の草木管理の推進、市民協働による雨水排水の定期的清掃や緑化などに取り組み、良好な河川空間の形成に努めます。	河川愛護団体6団体が補助金制度を活用し、良好な河川空間の形成に努めた。	建設課
◇	二級河川の河床の浚渫並びに河川堤防の管理など、関係機関に働きかけます。	二級河川に関する要望計21件について、河川管理者へ働きかけを行った。	建設課
◇	海岸漂着物などの定期的な除去など管理を進め、美しい海岸を維持します。	海岸に漂着した流木やごみ計60m ³ の処理を行った。	建設課
		下岬海岸での美化活動（海岸漂着物処分委託・流木集積委託）の実施及びそれに伴う管理維持を行った。	社会教育課
		海岸清掃ボランティア団体が収集した海岸漂着物の処理を行った。	商工観光課
◇	美しい海岸環境の保全のため、マリンスポーツ愛好者を中心とした地域、小中学生との協働による積極的な清掃活動と呼びかけます。	市内小中学校の行事の際に、清掃活動を行った。また海岸活況に関する学習を学校独自で実施、情報発信を行った。	社会教育課
		地元サーファーの方達が定期的に開催するビーチクリーン活動への呼びかけを実施した。	商工観光課
◇	海岸林の美化推進や監視強化により、ごみを捨てにくい環境を作り、ごみのポイ捨て・不法投棄の防止に努めます。	不法投棄防止パトロールを細部まで実施し不法投棄防止に努めた。	環境課
		保全林組合の方と協力し、美化活動に努めた。	管理課
		2月に1地区で以前の植樹箇所の下草刈り及び枝打ちを行った。	農林水産課
◇	県と連携して、海洋プラスチックごみ防止6R県民運動の啓発に努めます。	SNS掲載や、のぼり旗・ポスターを掲示し啓発活動を行うと共に、美しく豊かな静岡の海を守る会とも連携して、ボランティア活動の支援を行った。	環境課

④水産資源の保全・活用

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	磯焼けに伴う藻場の復元に取り組みます。	カジメ苗 50 kg及びサガラメ苗 30kg を投入した。	農林水産課
◇	静岡県温水利用研究センターと共同でマダイ・ヒラメ・クエなどの栽培漁業を推進し、漁業と観光の振興につなげます。	県温水利用研究センター等と連携し、7月にマダイの稚魚 500 尾の放流を行った。	農林水産課

⑤水資源の保全

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	森林が持つ保水機能を取り戻すため、県に協力して、荒廃森林の再生を進めます。	森の力再生事業を 1 箇所実施した。	農林水産課
◇	合併浄化槽の設置または下水道への接続を積極的に推進します。	広報おまえざき 6 月号に合併処理浄化槽の普及推進記事を掲載し、PR 活動を行っている他、窓口や電話などの個別対応時に合併処理浄化槽の設置、又は下水道への接続を推進しております。	上下水道課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



2 緑豊かな森林と農地をまもる

■ 数値目標と評価

環境指標	松食い虫被害海岸林・予防面積			ha/年
定義	松食い虫等による枯れ松の被害面積			
数値目標	H30	策定時	55ha/年	
	R4	実績	55ha/年	
		目標	55ha/年	
		評価	目標達成:達成率 100.0%	
R6	中間目標	55ha/年		
R11	最終目標	55ha/年		
担当課	農林水産課			
R4 評価コメント	例年どおり 55ha にわたって薬剤空中散布を行い、松枯れの防止に努めた。			

環境指標	エコファーマー認定者数			人
定義	県より認定を受けた農業者の人数			
数値目標	H30	策定時	30 人	
	R4	実績	2 人	
		目標	32 人	
		評価	★:達成率 6.3%	
R6	中間目標	33 人		
R11	最終目標	36 人		
担当課	農林水産課			
R4 評価コメント	農業者からは、コストがかかるなど認定のメリットが感じられないとの声がある。制度の周知を検討する。			

環境指標	遊休農地面積			ha/年
定義	現在、遊休している農地面積			
数値目標	H30	策定時	607ha/年	
	R4	実績	538ha/年	
		目標	483ha/年	
		評価	★★:達成率 111.4%	
R6	中間目標	421ha/年		
R11	最終目標	266ha/年		
担当課	農林水産課			
R4 評価コメント	非農地化の推進や荒廃農地対策補助金、所有者による保全管理により荒廃農地が減少している。引き続き推進する。			

環境指標	地域で守る農地面積			ha/年
定義	現在、耕作されている農地面積			
数値目標	H30	策定時	103ha/年	
	R4	実績	131ha/年	
		目標	168ha/年	
		評価	★★:達成率 78.0%	
	R6	中間目標	200ha/年	
R11	最終目標	200ha/年		
担当課	農林水産課			
R4 評価コメント	担い手への農地集積が進み、耕作地が増加した。			

環境指標	学校給食で使用する食材の地産地消率			%/年
定義	学校給食で使用する食材の地産地消率			
数値目標	H30	策定時	26.5%/年	
	R4	実績	21.1%/年	
		目標	29.5%/年	
		評価	★★:達成率 71.5%	
	R6	中間目標	31.0%/年	
R11	最終目標	33.0%/年		
担当課	学校給食センター			
R4 評価コメント	市内産食材の調達率が伸びなかった。			

【評価(4段階)】令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■市の取り組み(2022年度の実績)

①森林・樹木の保護

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	保安林等の植樹を行い、防災林の保護をします。	10月にクロマツ100本とウバメガシ100本、12月にクロマツ100本、3月にクロマツ200本を植樹した。	農林水産課
◇	希少な植生や植物群落、巨樹・巨木、古木などを保全します。	市内の希少な植生や植物群落、巨樹・巨木、古木の保全方法や情報収集を行った。	農林水産課

②森林の適正管理と木材の利用促進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	御前崎市森林整備計画に基づき、事業者に対して指導を行います。	伐採届に対する指導を2件実施した。	農林水産課
◆	山林所有者や市民等と協働で、地域の植生や自然環境に配慮した山林の適正管理の推進に取り組みます。	森の力再生事業1箇所を実施した。	農林水産課
◆	森林の適切な管理に向けた山林所有者の支援を行います。	森の力再生事業の活動1団体と連携して支援を行った。	農林水産課
◆	治山事業を推進し、倒木被害や土砂崩れなどの未然防止に努めます。	静岡県中遠農林事務所と治山パトロールを実施した。	農林水産課
◆	森の力再生事業の積極的なPRに努めます。	森の力再生事業の活動1団体が、事業を1箇所実施した。	農林水産課

③計画的な農地の保全と基盤の整備

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	農業振興地域整備計画に基づき、計画的な農地の保全及び整備を図ります。	県と協議を行い、農業振興地域整備計画の変更を4件(除外3件、編入1件)実施した。	農林水産課
◇	農村環境計画に基づき、環境配慮工法を取り入れた農地の整備及び管理を図ります。	市内の施工業者と環境配慮工法の施工箇所について、検討を行った。	農林水産課
◇	宅地化など農地の無秩序な転用防止のため、都市的土地利用との計画的な調整を図りながら保全に努めます。	農業委員会では、農地法の転用基準に従い、無秩序な転用防止に努めた。	農林水産課
◇	新規就農者を積極的に受け入れます。	新規就農者を1名受け入れた。	農林水産課
◇	認定農業者等への農用地の集積や団地化を促進し、生産性の向上を図ります。	比木地区の土地改良事業に伴い、担い手への年次計画に沿って1,416aの集積計画を進めた。	農林水産課
◇	生産効率の高い区画の造成や大型機械が対応可能な面的整備を進めます。	上朝比奈地区の土地改良事業に伴う茶園区画整理スケジュール(案)を作成した。	農林水産課
◇	人・農地プランを整備し、農地の担い手確保を図ります。	市内13地区の人・農地プランを更新した。	農林水産課

④遊休農地の活用

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	市民農園、体験農園等を視野に入れながら、集落地の遊休農地の有効活用等農地の多面的な利用を促進します。	市民農園區画で10名、体験農園區画で5名、において実施した。	農林水産課
◇	人・農地プランを活かし、遊休農地の減少に取り組めます。	人・農地プランの実質化に向け、市内13地区の農地のうち、54.2aの荒廃農地が解消された。	農林水産課
◇	農地の利用状況調査・意向調査で把握した、「貸し出し可能な遊休農地」を地図化し、希望者への積極的な提供に努めます。	農地の利用状況調査・意向調査で把握した、「貸し出し可能な遊休農地」を地図化し、希望者への積極的な提供を行った。	農林水産課

⑤地産地消及び環境保全農業の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	地産地消を推進するため、農水産物直販施設の充実を図ります。	様々な地場産物を販売し、地産地消を推進した。	農林水産課
◆	農産物販売促進施設として、道の駅やあらさわふる里公園の有効活用を進めます。	農産物販売促進施設として、道の駅の農産物販売所を有効活用した。	農林水産課
◆	地産地消の促進のため、イベント等で市の農産物を積極的にPRします。	関係団体と協力し、市内イベントへの出店及び病院食への食材提供等によりPRを実施した。	農林水産課
◇	環境にやさしい栽培技術の確立と普及を図ります。	環境にやさしい農業の啓発を行った。	農林水産課
◇	有機JASやエコファーマーの認定取得を支援します。	エコファーマー制度等の広報を実施した。	農林水産課
◇	GAP認定の取得を支援します。	GAP認定制度の広報を実施した。	農林水産課
◆	地場産品を使った献立を考案し、健康講話などの機会を捉えて地産地消の普及に努めます。	レシピコンテストを開催した。	健康づくり課
◆	地場産品を使用した学校給食の提供に努め、地産地消を推進します。	納入業者の公募を行い、地場産物を取り扱う業者の登録ができた。	学校給食センター

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



3 多様な生きものと共生する

■ 数値目標と評価

環境指標	アカウミガメふ化率			
定義	アカウミガメが産卵した卵の割合			
数値目標	H30	策定時	37.8%/年	
	R4	実績	47%/年	
		目標	39%/年	
		評価	目標達成:達成率 120.5%	
	R6	中間目標	40%/年	
R11	最終目標	50%/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	総合的にアカウミガメの産卵が増加し、また保護活動の徹底をしたことにより、目標を達成することができた。			

環境指標	飼い猫・地域猫の避妊去勢手術件数			
定義	猫の避妊去勢手術を実施した件数			
数値目標	H30	策定時	1,528 件	
	R4	実績	1,831 件	
		目標	1,909 件	
		評価	★★★:達成率 95.9%	
	R6	中間目標	2,100 件	
R11	最終目標	2,600 件		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	予算を使いきる申請がされ、飼養動物の適正管理について意識が高まっている。予算額が減っているため目標は達成できなかった。			

【評価(4段階)】 令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■ 市の取り組み (2022 年度の実績)

① 野生動植物の保護・管理

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図り、生物の多様性を確保します。	傷病鳥獣の保護は該当なし。農作物被害による対処捕獲として、有害捕獲許可証を 20 件交付した。	農林水産課
◇	市内で確認されている貴重な動植物の情報を蓄積し、提供します。	市内で確認されている貴重な動植物の情報を収集した。	農林水産課
◇	御前崎市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣対策を行います。	有害鳥獣捕獲業務委託、電気柵購入費に対する補助金等により、防護対策を実施した。	農林水産課
◇	天然記念物の保護を行います。	国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」や県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の保護を実施した。	社会教育課
◇	比木賀茂神社社叢の草木管理等への積極的支援を行います。	比木賀茂神社社叢の遊歩道の除草を行っている団体に補助金の交付を実施した。	社会教育課
◇	比木賀茂神社社叢の遊歩道修繕など環境整備を行います。	比木賀茂神社社叢の遊歩道の遊歩道の修繕を行った団体に補助金の交付を実施した。	社会教育課

◇	市指定天然記念物の樹木の保護等のため、所有者の申請により補助します。	市指定天然記念物のイスノキ群生林の保護のため補助金の申請があり交付決定を行った。しかし、補助対象であった市道側に傾斜したイスノキの巨木が滅失してしまったため中止の申請があり、交付決定を取り消した。	社会教育課
◇	アカウミガメ及びその産卵地の監視とアカウミガメの人工ふ化、放流などを行います。	保護監視員に委託し、保護活動期間中の巡視やふ化管理を徹底した。	社会教育課
◇	アカウミガメが産卵しやすい海岸環境維持のため啓発看板設置や監視の強化を行います。	啓発看板の設置は行わなかったが、日々のウミガメ保護活動を徹底した。	社会教育課
◇	御前崎遠州灘県立自然公園内における指定動植物の捕獲・採取の規制を徹底します。	自然公園区域内をパトロールを行い、啓発に努めた。	管理課
◇	野良猫（地域猫を含む）の繁殖を防ぐため、避妊去勢手術の実施や動物遺棄禁止等を啓発します。	飼い猫室内飼いのチラシを猫の避妊去勢手術の申請者や猫の相談者に配布し、啓発を行った。	環境課

②外来種等の防除及び飼養動物の適正管理

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	特定外来生物の分布などの情報を収集し、駆除を含む適切な処置と啓発に努めます。	「ふじのくに特定外来生物対応リーフレット」を用いて、特定外来生物の防除啓発に努めた。	農林水産課
◇	猫の適正な飼養の確保及び繁殖防止を目的として飼養者に対して、避妊去勢手術の実施を積極的に啓発します。	広報誌やホームページに飼い猫適正飼養補助金について掲載した。補助金利用による手術件数は雄猫 23 件、雌猫 44 件だった。	環境課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



4 自然・景観・歴史に親しむ

■ 数値目標と評価

環境指標	里山地区観光客数			人
定義	市内に観光に訪れた人数			
数値目標	H30	策定時	484,586 人	
	R4	実績	527,581 人	
		目標	519,795 人	
		評価	目標達成: 達成率 101.5%	
	R6	中間目標	537,400 人	
R11	最終目標	570,400 人		
担当課	商工観光課			
R4 評価コメント	新型コロナウイルス対策の緩和により、各イベントが再開され、観光交流客数が増加した。			

環境指標	指定文化財数			件
定義	指定文化財に登録されている数 ※保護審の答申に基づき指定			
数値目標	H30	策定時	32 件	
	R4	実績	35 件	
		目標	34 件	
		評価	目標達成: 102.9%	
	R6	中間目標	35 件	
R11	最終目標	38 件		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	新たに市指定有形文化財「本居宣長像自賛(掛軸)」が指定されたため目標を達成した。			

環境指標	文化財案内板設置数			基
定義	文化財の場所や内容を案内している看板の設置数			
数値目標	H30	策定時	89 基	
	R4	実績	91 基	
		目標	91 基	
		評価	目標達成: 達成率 100%	
	R6	中間目標	92 基	
R11	最終目標	95 基		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	新たに市指定天然記念物として「旧朝比奈小学校の黒松」が指定され、令和 4 年度に看板を設置したため目標を達成した。			

【評価(4段階)】 令和 4 年度の実績対目標

★: 達成率 0~49%、★★: 達成率 50~79%、★★★: 達成率 80~99%、目標達成 : 達成率 100%以上

■市の取り組み（2022年度の実績）

①自然とのふれあいの促進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	自然とふれあえる施設等のネットワーク化や魅力ある施設の充実を図ります。	公園の植栽を適正に行い、環境整備に努めた。 観光物産会館について空室となっていた部屋の改修に伴い、利活用の頻度が増え、賑わいのあるスペースとなった。	管理課 商工観光課
◇	御前崎市観光基本計画に基づき、豊かな海と里山を活かした観光振興を図ります。	数年実施できなかった、みなと夏祭もコロナ対策をしつつの開催であったが、多くの方に来場があった。	商工観光課
◇	御前崎灯台周辺の遊歩道の維持管理に取り組みます。	除草作業や早めの修繕により、来場者に安心して楽しんでもらえるよう、管理を行った。	商工観光課
◇	自然と歴史が融合する「桜ヶ池公園」の管理を行います。	公園内の清掃、除草、トイレの清掃を行い、環境整備に努めた。	管理課
◇	富士山静岡空港との近接性を活かし、他では見られない風景と新鮮な食材を活かした観光振興エリアとして、外国人観光客の宿泊誘致を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人観光客の誘客促進事業は実施していない。	商工観光課
◇	砂丘の保全林や遊歩道の景観を維持するため適切に管理します。	保全林組合と協力し、美化活動に努めた。	管理課

②良好な景観形成の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	景観に対する意識を高め、市民協働による美しい御前崎市づくりを目指します。	ガーデンシティ事業を通して、市民と協働し、街路美化及び景観形成へ努めた。	都市政策課
◇	案内看板や防護柵などの設置の際、自然景観と調和した色彩の配慮に努めます。	都市計画道路の街路灯改修工事を行う際に「ふじのくに色彩・デザイン指針」を参考に周辺環境と調和を意識することや、案内看板について規制区域内では色彩の基準に合わせていただく等、色彩のへ配慮を行った。	都市政策課
◇	静岡県屋外広告物条例に基づいた広告物の規制や意識啓発を行います。	屋外広告物条例に係る規制等に基づき、設置申請の受付事務や看板等の設置に対する助言、HPによる周知を行った。	都市政策課
◇	御前崎遠州灘県立自然公園の景観を保全します。	自然公園区域内のパトロールを行い、啓発に努めた。	管理課
◇	市内の美しい景観を映像やインターネットなどによってPRし、観光振興に活用します。	御前崎市観光プロモーション動画やその他写真を、市のホームページやその他媒体に掲載しPRを行った。	商工観光課
◇	道路沿いや河川堤防などの草の除去を行います。	必要に応じシルバー人材育成センター等に依頼をし計5件の除草を実施した。	建設課

③歴史・文化的遺産の保護及び継承

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	国・県・市指定の文化財の管理・保護を行います。	文化財保存事業補助金の申請のあった県や市指定の文化財の管理事業を行う団体等に補助金を交付して支援するとともに、国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の除草等の管理を行った。	社会教育課
◇	先人の遺産を記録として残し、文化財保護の愛護意識を高めます。	開発に伴う市内遺跡の試掘調査や文化財整理室所蔵民具台帳のデジタル化業務を実施して記録保存を図った。	社会教育課
◇	文化財の保護を図るため、展示会や地域を学ぶ講座を開催します。	灯台ワールドサミット in 御前崎で「国指定重要文化財の現役灯台パネル展」や、小学校や比木地区センター主催事業等で文化財出張授業を開催した。また、御前崎地区を対象とした文化財講座を開催した。	社会教育課
◇	地域に残されている民俗行事の継承を図ります。	静岡県ホームページに掲載するための県指定無形民俗文化財「桜ヶ池のお櫃納め」の解説付紹介動画の確認について協力した。	社会教育課
◇	地域の史跡を活用した御前崎「自然と歴史の道」のネットワーク化を図ります。	地域の史跡や自然が掲載されている御前崎市学び歩きマップの改訂版の作成に協力した。	社会教育課
◇	歴史的・文化的遺産についての説明看板を整備します。	市指定有形文化財「高松神社本殿」説明看板の修繕工事や市指定天然記念物「旧朝比奈小学校の黒松」説明看板新設工事を実施した。	社会教育課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



5 公園・緑地をまもる

■ 数値目標と評価

環境指標	グリーンバンク申請団体数			団体/年
定義	グリーンバンクに申請している団体の数			
数値目標	H30	策定時	55 団体/年	
	R4	実績	45 団体/年	
		目標	55 団体/年	
		評価	★★★:達成率 81.8%	
	R6	中間目標	55 団体/年	
R11	最終目標	55 団体/年		
担当課	管理課			
R4 評価コメント	団体の高齢化が原因で、申請団体数は減少傾向にあるため、新規団体の勧誘に努めている。			

環境指標	ガーデンシティ事業参加数			団体/年
定義	用途区域内の環境美化活動(ガーデンシティ事業)に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	5 団体/年	
	R4	実績	5 団体/年	
		目標	5 団体/年	
		評価	目標達成:100%	
	R6	中間目標	5 団体/年	
R11	最終目標	5 団体/年		
担当課	都市政策課			
R4 評価コメント	目標値を達成したため、今後も事業の継続のため支援に努めていく。			

【評価(4段階)】 令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■ 市の取り組み (2022 年度の実績)

①公園・緑地の整備と適正管理及び利用促進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	自然を活かした総合公園の整備を図るため、事業計画の検討を行います。	都市公園見直しに向け、現状把握及び見直し案の検討を行った。	都市政策課
◇	公園等の適正管理に努め、施設の安全及び事故防止を徹底し、美しい景観を維持します。	年間5回の遊具点検を行い、不調がある場合は改善をした。	管理課
◆	公園のごみ拾いや緑化について、市民協働で取り組みます。	地元の管理組合に公園管理を委託し、美化活動に努めた。	管理課
◆	地元団体や管理組合に委託実施する植生管理の充実に努めます。	市内業者、地元管理組合に植栽管理等を委託し、美化活動に努めた。	管理課
◇	公園利用のマナー向上のため、啓発看板や防犯カメラの設置を推進します。	園内に適切に利用する掲示物や遊具へは、対象年齢を明記した。	管理課
◇	公園は多面的な利用ができるよう、市民の主体的管理を勧奨します。	一部利用者が独占しないように努めた。	管理課
◇	浜岡総合公園・御前崎中央公園の適正な維持管理を継続します。	管理対象外	管理課
		指定管理者との契約により適切に管理を行った。	社会教育課

②緑化の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	グリーンバンクなどの活用を図り、公共施設の緑化を推進します。	対象団体へ春・秋、それぞれの花や緑化木の配布事業を行った。	管理課
		敷地内に緑地を確保してあり、野菜や緑のカーテン育成、季節の花々を植える等して緑化を推進した。都市計画道路等に対して、市民と協働し、街路美化に努めた。道の駅の展示温室に、花を展示した。花の会や生徒・児童が、日常的に整備を行い、緑化を推進できた。	各課
◆	市民の憩いの場である公園・広場等の緑化を推進します。	対象団体へ春・秋、それぞれの花や緑化木の配布事業を行った。	管理課
		街路樹の継続管理に努めた。マリンパークやウミエールの維持管理のため、除草作業や植栽管理により緑化に努めた。花壇や畑、プランターなど、季節や年間学習指導計画に合わせて栽培。子供たちが世話をしながら、植物を育てている。町内会と協力し、緑化や草刈り・樹木の剪定等の整備を行った。	各課
◆	花の会など管理団体の活動を支援して緑化を推進します。	定期的な活動ができるよう、年間を通じた植栽計画により緑化の推進を行った。	商工観光課
◆	市民や事業者に対して、土地利用事業の適正化に関する指導要綱により、緑化の推進を勧奨します。	土地利用指導要綱に基づき適正な指導を実施した。	都市政策課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



6 公害を防ぐ

■数値目標と評価

環境指標	公害苦情件数 (大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭)			
定義	市に寄せられた公害苦情の件数			
数値目標	H30	策定時	13 件/年	
	R4	実績	10 件/年	
		目標	0 件/年	
		評価	★:達成率:0%	
	R6	中間目標	0 件/年	
R11	最終目標	0 件/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	悪臭に関する苦情の割合が多く、長年の問題として取り組んでいる事例がある。他の苦情については例年と同等の件数となっている。			

環境指標	公害防止協定(環境保全協定)締結社数			
定義	市と公害防止協定(環境保全協定)を締結している事業所の数			
数値目標	H30	策定時	40 件	
	R4	実績	41 件	
		目標	41 件	
		評価	目標達成:100%	
	R6	中間目標	42 件	
R11	最終目標	45 件		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	令和4年度は新たに環境保全協定を締結した事業所はなかった。			

【評価(4段階)】 令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■市の取り組み (2022年度の実績)

①公害の防止

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	該当事業所に対しては、県と連携して水質・大気・悪臭・ダイオキシン類などの環境調査を定期的実施し監視します。	県と連携して、立入調査を6箇所実施した。	環境課
◇	環境調査結果を基に、事業所への立ち入り調査・指導などを実施します。	環境調査結果をもとに、臭気基準値を上回る事業者へ改善指導を行った。	環境課
◇	公害の未然防止のため、事業所と環境保全協定の締結に努めます。	新規締結なし(締結数 41)	環境課
◇	過去に事業所と締結した公害防止協定及び環境保全協定を見直し、現状に即した内容への更新を進めます。	締結内容の見直し対象なし	環境課
◇	公害苦情に対しては、原因解決を目指して努力します。	苦情があった際には現場へ行き原因を調査すると共に、原因の発生源である事業所等に問題解決へ向けて改善を指導した。	環境課
◇	水質汚濁防止のため、合併浄化槽の設置または下水道への接続を積極的に推進します。	広報おまえざき6月号に合併処理浄化槽の普及推進記事を掲載し、PR活動を行っている他、窓口や電話などの個別対応時に合併処理浄化槽の設置、又は下水道への接続を推進している。	上下水道課

◇	企業を工業用地に誘導することで、環境悪化を未然に防ぎ、公害発生防止などの指導を行います。	対象企業なし	企業港湾室
---	--	--------	-------

②有害化学物質対策の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	野焼きの禁止や焼却炉の使用・管理について啓発に努めます。	チラシと環境課・消防署の対応フローチャートの内容を見直し、より分かりやすくする事で啓発に努めた。また、苦情があった際は現場にて原因者に対して指導を行った。	環境課
◇	ダイオキシン類対策特別措置法の特定施設に該当する事業所に対し、県と連携し、測定結果報告書の提出を指導します。	該当事業者に対し、測定結果の期限内提出を促し、県へ報告することが出来た。	環境課
◇	「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)の届出要件に該当する事業者に対し、適正に届出が行えるよう県と連携して周知します。	ホームページに掲載し、該当事業者に対して周知を行った。	環境課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



7 空気や水をきれいにする

■ 数値目標と評価

環境指標	臭気指数による基準値超過地点数			地点
定義	臭気指数が基準値を超過した地点数			
数値目標	H30	策定時	4 地点/年 (測定地点 7 地点)	
		R4	実績	
	R4	目標	0 地点/年	
		評価	★: 達成率 0%	
R6	中間目標	0 地点/年		
R11	最終目標	0 地点/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	測定地点数については、問題ない地点の測定をやめたことにより、7 箇所から 6 箇所へ変更している。数値が超過した箇所数は昨年度より1箇所増となった。			

環境指標	市内河川 BOD の B 類型基準超過地点数			%/年
定義	市内河川で水質調査をしている地点のうち、BOD の B 類型基準を超過した地点数			
数値目標	H30	策定時	9 地点/年	
		R4	実績	
	R4	目標	0 地点/年	
		評価	★: 達成率 0%	
R6	中間目標	0 地点/年		
R11	最終目標	0 地点/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	調査の地点数については、昨年度と同数の調査を行えた。BOD の超過については目標値から遠いものとなっている。1級河川のような大きな河川の水質基準に当てはめて比較管理している。市内の河川は規模が小さいものがほとんどであり、光合成などの影響を受けやすく BOD の値が上がってしまう箇所がある。			

環境指標	生活雑排水処理率			%/年
定義	生活排水処理率の算定式 (水洗人口 - 単独処理浄化槽人口) / 総人口 × 100			
数値目標	H30	策定時	83%/年	
		R4	実績	
	R4	目標	89%/年	
		評価	★★★: 達成率 98.8%	
R6	中間目標	92%/年		
R11	最終目標	96%/年		
担当課	上下水道課			
R4 評価コメント	令和 4 年度に合併浄化槽を 59 基設置した。			

【評価(4段階)】 令和 4 年度の実績対目標

★: 達成率 0~49%、★★: 達成率 50~79%、★★★: 達成率 80~99%、目標達成 : 達成率 100%以上

■市の取り組み（2022年度の実績）

①大気汚染対策の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	光化学オキシダントには県と連携し、注意報など遅滞なく注意喚起に努めます。	県と連携し、遅滞なく注意喚起に努めるが、令和4年度に注意報の発令は無かった。	環境課
◇	微小粒子状物質（PM2.5）には県と連携し、遅滞なく注意喚起に努めます。	県と連携し、遅滞なく注意喚起に努めるが、令和4年度に微小粒子状物質（PM2.5）に関する注意報は無かった。	環境課
◇	大気汚染物質の排出事業所には、その排出抑制や削減に県と連携して指導・助言を実施します。	苦情があった事業所に対して県と立入調査を実施し現状の確認と助言を実施した。	環境課
◇	国県道の更なる整備を働きかけ、交通ネットワークの強化を図ります。	磐田御前崎国道150号期成同盟会等に参加し、関係市町と合同で要望活動を行った。	建設課
◇	市道の整備を積極的に推進し、交通ネットワークの充実を図ります。	市道計12路線の整備を行った。	建設課

②悪臭・騒音・振動対策の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	悪臭防止法に基づき、定期的な臭気の測定を実施します。	測定地点数については、問題の無い地点の測定をやめたことにより、7箇所から6箇所へ変更している。数値が超過した箇所数は昨年度より1箇所増となった。	環境課
◇	悪臭が発生する事業所には、臭気指数の規制の徹底を図ります。	臭気指数が基準を超過した3事業所に対して指導監視を実施したが、基準値以下の数値とならなかった。	環境課
◇	悪臭が発生する事業所には、専門機関による調査と問題の解決に向けた施策を立案・実施します。	苦情が多い事業所の対策を専門機関へ相談し、その結果をアドバイスした。	環境課
◇	悪臭が発生する事業所に対し必要に応じて行政指導を実施します。	令和元年度に改善勧告を発令した3事業所に対して引き続きの指導監視を実施した。	環境課
◇	事業所の新增設や苦情発生の際、騒音・振動に係る指導を徹底します。	苦情があった際には現場へ行き事業所へ指導した。	環境課
◇	騒音・振動の発生が少ない次世代自動車の導入を推進します。	現行の騒音・振動基準に適合した自動車を購入した。購入等に向けて検討は行ったが、財政状況が非常に厳しく予算計上は出来なかった。	各課
◇	道路構造による自動車等の走行時騒音・振動の発生要因を低減します。	側溝や蓋などの破損箇所の修繕計32件を実施し、自動車等の走行時騒音・振動の低減に努めた。	建設課

③水質汚濁対策の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	一般廃棄物処理基本計画に基づいた計画的な生活排水処理を行います。	浄化槽設置事業費補助金交付要綱に基づき、市内全域で59基の合併処理浄化槽を設置、また公共下水道で23箇所、農業集落排水で10箇所取付管を設置することで公共下水道、農業集落排水への接続を推進している。	上下水道課
◇	公共下水道全体計画に基づいた計画的な下水道整備を行います。	23箇所取付管を設置するなど、公共下水道への接続を推進し、効率的な処理を行っている。	上下水道課
◇	合併浄化槽の設置または下水道への接続を積極的に推進します。	広報おまえざき6月号に合併処理浄化槽の普及推進記事を掲載し、PR活動を行っている他、窓口や電話などの個別対応時に合併処理浄化槽の設置、又は下水道への接続を推進している。	上下水道課
◇	下水道施設の維持管理に努め、安心して生活できる環境を維持します。	ストックマネジメント計画に基づき、公共下水道及び農業集落排水施設のマンホールポンプ遠方監視システム更新工事を進めている。	上下水道課
◇	個別処理対象地域の住宅への合併浄化槽設置費を補助します。	浄化槽設置事業費補助金交付要綱に基づき、市内全域で59基の合併処理浄化槽を設置した。	上下水道課
◇	家庭から出る使用済みや期限切れの食用油を回収します。	ホームページや班回覧、出前講座内等で啓発活動を行った。令和4年度は市役所本庁舎及び支所において、廃食油566ℓを回収した。	環境課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



8 ごみの減量とリサイクルを進める

■ 数値目標と評価

環境指標	1人1日当たりごみ排出量			
定義	市民1人が1日当たりに排出するごみの量			
数値目標	H30	策定時	941g/日・人/年	
	R4	実績	911g/日・人/年	
		目標	910g/日・人/年	
		評価	★★★:達成率 97.8%	
	R6	中間目標	895g/日・人/年	
R11	最終目標	850g/日・人/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	ごみの量は減少傾向にあり令和4年度は令和3年度とほぼ同じ数値だった。今後も、リサイクルの推進に努める。			

環境指標	マイバッグ持参率			
定義	マイバッグを持参した割合			
数値目標	H30	策定時	88.7%/年	
	R4	実績	85.1%/年	
		目標	89.6%/年	
		評価	★★★:達成率 94.9%	
	R6	中間目標	90%/年	
R11	最終目標	95%/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	近年はほぼ横這いで、マイバッグの持参について浸透してきているが目標の達成には至らなかった。引き続き啓発していく。			

環境指標	給食の残さ率			
定義	給食の残さ率			
数値目標	H30	策定時	2.8%/年	
	R4	実績	10.5%/年	
		目標	1.9%/年	
		評価	★:達成率-883.8%	
	R6	中間目標	1.5%/年	
R11	最終目標	1.4%/年		
担当課	学校給食センター			
R4 評価コメント	新型コロナウイルス感染症対策のため、学校で「おかわりをしない」「減らさない」「給食時間をのばさない」などの対策が取られたこともあり残食が多くなり、目標達成出来なかった。			

環境指標	不法投棄箇所数			箇所/年
定義	不法投棄防止パトロールにより、不法投棄が発見報告された箇所数			
数値目標	H30	策定時	68 箇所/年	
	R4	実績	37 箇所/年	
		目標	43 箇所/年	
		評価	目標達成: 達成率 122.4%	
	R6	中間目標	30 箇所/年	
R11	最終目標	0 箇所/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	市民への注意喚起や町内会の協力により、不法投棄箇所数が年々減少している。			

環境指標	不法投棄監視パトロール実施回数			回/年
定義	不法投棄防止パトロールを実施した回数			
数値目標	H30	策定時	95 回/年	
	R4	実績	81 回/年	
		目標	95 回/年	
		評価	★★★: 達成率 85.3%	
	R6	中間目標	95 回/年	
R11	最終目標	95 回/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	御前崎市シルバー人材センターに委託しているパトロールに加え、職員が現場へ出た際にパトロールを実施したが、目標達成には至らなかった。			

環境指標	道路愛護参加人数			人/年
定義	道路愛護に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	3,199 人/年	
	R4	実績	3,393 人/年	
		目標	3,200 人/年	
		評価	目標達成: 達成率 106%	
	R6	中間目標	3,200 人/年	
R11	最終目標	3,200 人/年		
担当課	建設課			
R4 評価コメント	市民意識の高まりもあり、補助金を活用し道路愛護活動を実施する団体が増加したため、目標を達成することができた。			

環境指標	ごみゼロ運動の参加者数			人/年
定義	ごみゼロ運動に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	6,057 人/年	
	R4	実績	4,151 人/年	
		目標	6,686 人/年	
		評価	★★: 達成率 62.1%	
	R6	中間目標	7,000 人/年	
R11	最終目標	8,000 人/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	感染症対策で規模を縮小して実施した町内会があり参加人数が減少しているが、前年度よりは増加している。			

【評価(4段階)】 令和4年度の実績対目標

★: 達成率 0~49%、★★: 達成率 50~79%、★★★: 達成率 80~99%、目標達成 : 達成率 100%以上

■市の取り組み（2022年度の実績）

①計画的な廃棄物対策と適正処理

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	一般廃棄物処理基本計画に基づいた計画的な廃棄物の減量・リサイクル、適正処理を行います。	ごみの減量やリサイクルを市民に呼びかけ、適正な処理に努めた。	環境課
◆	ごみ集積所での回収を円滑に行うため、ごみ収納施設の整備を推奨します。	ごみ集積所整備費補助金を利用していたため、町内会が集積所の更新を実施した。	環境課
◆	ごみ出しルールについて、市民や滞在者への周知徹底を図ります。	環境出前講座を実施しごみ出しルールについて啓発活動を行うとともに、ごみの出し方の基本的なルールをまとめたチラシを作成して転入者へ配布した。	環境課
◆	町内会管理のごみ集積所の管理あるいは監視について町内会への指導を実施します。	総務委員へ管理と指導を依頼し、相談があった際には、ごみ出しルールを守っていない該当者へ直接指導した。	環境課
◆	ごみ出しルールや散乱防止の指導について町内会を通じて啓発活動を実施します。	環境出前講座を実施し、ごみ出しルールについて啓発活動を行った。	環境課
◆	排出事業者のごみの分別・リサイクルを徹底させるため、ごみ焼却施設において展開検査を実施します。	環境保全センターと協力し4回の展開検査を行った。	環境課
◆	ごみ焼却施設の老朽化に対応するため、牧之原市及びび牧之原市御前崎市広域施設組合と施設の延命化及び更新について検討します。	国が示す、ごみ処理広域化計画に基づき、令和2年度から静岡県が策定する広域化計画の協議会に参加し、組合の延命化及び更新について検討した。	環境課

②リデュース・リユースの推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	日常生活から大量の廃棄物が出ている現状を見直し、市・市民・事業者それぞれが実施できるごみの減量化対策に取り組みます。	環境出前講座を実施し、ごみ出しルールについて啓発活動を行った。	環境課
◆	マイバッグ運動を積極的に推進します。	年2回市内協力店舗に調査を依頼し、マイバッグの持参率について調査を行った。また、その結果をグラフにしてホームページで公開した。	環境課
◆	市内店舗におけるレジ袋削減意識の拡大に努めます。	レジ袋の有料化に伴い、マイバック利用について市民意識も変化してきた。継続し啓発していく。	環境課
◆	マイクロプラスチックなどの海洋ごみの削減に向けた啓発を行います。	のぼり旗やポスターの配布・掲示依頼及び、ホームページ等掲載、及び大産業まつりでは、ゲームを通じて子供たちにも啓発活動を行った。	環境課
◆	住宅耐震化の補助により、災害ごみの発生を抑制します。	広報誌やパネル展、戸別訪問等の広報活動により TOUKAI-0 事業を推進するとともに、木造住宅の耐震に関する補助を7件実施した。	都市政策課
◆	健康講話の際には、食品ロスの削減を推進します。	調理実習の実施時に無駄が出ないように、参加人数に応じて発注量を調整した。	健康づくり課
◆	食育指導により、学校給食の残さの削減に努めます。	給食日よりや給食の時間に使用される一口メモで、食品ロスについて取り上げて残食削減に努めた。	学校給食センター

◆	廃棄物の削減を意識した物品の購入・使用を徹底します。	課内で情報共有し、グリーン購入を意識した。在庫管理を明確にし、余剰が出ないように適切な数量を購入した。個包装していないか簡易包装、長期使用・詰め替えが可能、リユースやリサイクル可能なものを、できるだけ優先して購入した。業務連絡に付箋を使用せず、ロゴチャットを使用する等の工夫をした。使用しなくなった備品等を、必要とする施設へ配布して廃棄物を削減した。可能なものは修理して使用を続けた。	各課
◆	庁内の用紙使用量を削減します。	電子決裁や両面印刷・Nアップ印刷、裏紙の利用をした。会議や打ち合わせ等では、電子端末を活用することで資料のデータ化に意欲的に取り組んだ。データ配布やメール送信、HP掲載等を活用し、紙媒体での配布を削減した。本庁舎・西館のコピー用紙枚数は、前年度から 55,237 枚の削減ができた。	各課
◆	イベント時の配布・販売物の過剰包装を抑えます。	配布物を極力抑えるために、資料の見直しや集約を意識した。パンフレット等の配布を、希望者のみにした。様々な事業の対象ごとに、必要だと思われるチラシを、必要最小限の配布に留めた。告知等にHPやSNSを活用し、チラシの削減を推進した。配布物の包装を簡易にした。	各課

③リサイクルの推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	外食産業やスーパー等でのリサイクル活動を推進します。	国や県からのポスターやチラシの啓発をした	環境課
◆	従来、営業、生産活動において廃棄されていた排出物の有効活用を検討し、資源化率の向上に取り組みます。	一般家庭から出るリサイクル対象品についてまとめた紙ファイルを作成し、各戸配布することで周知した。	環境課
◆	県と連携し、食品ロス削減のための啓発を行います。	食品ロス削減の啓発のため、学校給食だよりに記事を掲載、また、小中学校図書館を利用し、関連図書の展示を行った。令和4年度は、講師を招いての食品ロス講演会を開催した。	環境課
◆	資源物を回収する活動を推奨します。	学校や園の資源回収日をホームページに掲載した。	環境課
◆	生ごみ削減のため、家庭用生ごみ処理機器の購入を推奨します。	生ごみ処理機器設置費補助金について、掲載しているホームページの内容を見直した。補助金利用による購入件数は、家庭用電化製品4件、コンポスト容器12件だった。	環境課
◆	市民を対象に出前ごみリサイクル教室を行います。	ごみ減量のため、環境出前講座を6町内会実施した。	環境課
◆	浜岡地区、御前崎地区2箇所にて資源拠点回収を継続します。	町内会への呼びかけや、ホームページに掲載して周知を図り、資源拠点回収を継続的に行った。	環境課
◆	家庭からの使用済みや期限切れの食用油を回収した後に、回収した食用油を民間企業において精製し、軽油の代替燃料(バイオ・ディーゼル燃料)として利用するように、リサイクルを推進します。	民間企業において廃食油を精製し、バイオディーゼル燃料として利用するため、ホームページや班回覧を通じて、市民に廃食油の回収を呼びかけ、566ℓ回収した。	環境課

◆	ごみの分別・リサイクルが適切に行えるよう、排出事業者に指導します。	ごみ減量のため、聞き取り調査・指導を1事業所へ行った。	環境課
◆	下水道汚泥を堆肥化し、リサイクルを推進します。	汚泥を堆肥化し、下水道汚泥のリサイクルを推進した。	上下水道課
◆	公園の剪定枝や落ち葉などの資源化に努めます。	一部肥料に利用している。	管理課
◆	食品ロス削減のために、フードドライブ事業を推進します。	フードドライブ事業により年間で313.1kgの食品を回収しました。	福祉課
◆	建設リサイクル法の届け出が、適正に行えるよう周知します。	HPによる建設リサイクル法の届出の周知や問い合わせへの対応を行った。	都市政策課
◆	建設発生土、コンクリートガラ、アスファルトガラのリサイクルを推進します。	建設リサイクル法に基づき、建設工事に関わる資材の資源化を推進している。建設課工事に関わる再資源化率は「コンクリート塊」99%、「アスファルト、コンクリート塊」95%、「建設発生土」70%だった。建設リサイクル法の届出を周知し、182件のリサイクル法の届出を処理した。工事の際に業者に対し、リサイクルを推進するよう依頼している。施設改修工事に伴い発生した、コンクリートガラ等のリサイクルを推進した。	各課
◆	イベント時には分別ごみ箱を設置し、廃棄物の再資源化に努めます。	イベント時には分別ごみ箱を設置し、廃棄物の再資源化に努めた。イベント参加者には、ごみを持ち帰るようお願いしている。	各課
◆	イベント時にはリサイクル商品を積極的に活用し、来場者に啓発します。	リサイクル商品で済むものについては取り入れた。リサイクルや詰め替えができる物など、廃棄物の削減を意識した物販や使用を啓発した。	各課

④グリーン購入の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	環境に配慮したグリーン購入を推進します。	物品購入の際に、グリーン購入対象品を意識した。令和4年度のエコアクション21対象施設のグリーン購入率は39.95%だった。	各課

⑤不法投棄対策の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	不法投棄の市内巡回パトロールを実施します。	シルバー人材センターへの業務委託と職員によるパトロールにより実施した。	環境課
◇	町内会による不法投棄の監視を推進します。	町内会役員を通じ、不法投棄が多い箇所の情報提供を依頼し、町内会にも監視を依頼した。	環境課
◇	ごみ不法投棄を防止するため、不法投棄防止ネットの支給を行います。	不法投棄防止ネットの設置希望がなかった。	環境課
◇	マナー向上の立て看板を貸出します。	市民からの要望により、看板の貸出しを行った。	環境課
◇	不法投棄が多い箇所への、監視カメラの設置を推進します。	監視カメラ設置の要望がなかった。	環境課
◇	不法投棄防止の啓発活動を行います。	不法投棄防止パトロールや看板の貸し出し、出前講座を通じて啓発を行った。	環境課

◇	不法投棄の温床撲滅のため、市民協働でゴミを捨てにくい環境を作ります。	市職員はもちろん、施設利用者に対してゴミの持ち帰りを周知した。市民と協働で道路・河川愛護、街路の美化活動に努め、ゴミを捨てにくい環境を推進した。日常的にゴミ拾いや清掃活動を実施し、環境美化への意識を高めた。公園・保全林等の管理委託を行い、パトロールを行っている。海岸清掃ボランティアや渚の交番が行う、海岸清掃のゴミを回収するため、ボックスを設置した。不法投棄注意喚起の看板を設置している。発行物に掲載し、利用者へ広報した。	各課
---	------------------------------------	---	----

⑥環境美化の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	地域の環境美化の推進を図り、ゴミを捨てにくい環境を整備します。	ゴミゼロ運動の実施や、町内会で清掃活動をした際に免除申請の発行を行った。	環境課
◇	ゴミゼロ運動への積極的な参加を推進します。	全町内会に対し、ゴミゼロ運動への協力を呼びかけ環境課としても搬入の支援を実施した。	環境課
◇	環境美化運動などのボランティア活動を支援します。	海岸清掃を行うボランティア団体に対して環境保全センターへの搬入手数料の免除を行い支援した。	環境課
◇	スクラムグッドマナー運動を推進します。	毎月10日を目安に学校・家庭・地域・行政などが協働し、市内各小中学校においてあいさつ運動を実施した。	学校教育課
		月に一度、市内小中学校であいさつ運動を実施した。また、スクラムグッドマナー運動を推進するため、Tシャツの販売などを行った。	社会教育課
◇	地域住民や美化活動団体との協働で道路の定期的清掃や緑化などを推進します。	道路愛護団体22団体が補助金制度を活用し、良好な道路空間の形成を行った。	建設課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



9 地球温暖化を止める

■数値目標と評価

環境指標	市有施設からの温室効果ガス排出量			
定義	市有施設から排出されている温室効果ガスの量			
数値目標	H30	策定時	9,112t-CO ₂ /年	
	R4	実績	8,458t-CO ₂ /年	
		目標	8,747t-CO ₂ /年	
		評価	目標達成:達成率 179.3%	
R6	中間目標	8,565t-CO ₂ /年		
R11	最終目標	8,110t-CO ₂ /年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	令和4年度の市有施設からの温室効果ガス排出量は、8,458t-CO ₂ 。前年度よりは増加してしまったが、平成30年度と比較すると、温室効果ガス排出量は、7.1%減少し、目標を達成した。			

環境指標	新エネルギー・省エネルギー機器導入補助件数			
定義	新エネルギー・省エネルギーの機器を購入する際に補助金を交付した件数			
数値目標	H30	策定時	2,566 件	
	R4	実績	2,916 件	
		目標	2,922 件	
		評価	★★★:達成率 99.8%	
R6	中間目標	3,100 件		
R11	最終目標	3,600 件		
担当課	エネルギー政策課			
R4 評価コメント	令和4年度目標を若干下回ってしまったため、市民への周知を続けていく。			

環境指標	廃食用油回収量			
定義	市役所本所、支所で回収した廃食用油の合計量			
数値目標	H30	策定時	549kl/年	
	R4	実績	566kl/年	
		目標	583kl/年	
		評価	★★★:達成率 97.1%	
R6	中間目標	600kl/年		
R11	最終目標	660kl/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	令和3年度は広報活動で増加したが、令和4年度は少し減少した。引き続き広報し、周知していく。			

【評価(4段階)】令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■市の取り組み（2022年度の実績）

①総合的な地球温暖化対策・エネルギー対策の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	御前崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、温室効果ガスの市内排出量を削減します。	御前崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、施策を進め、市内で排出される温室効果ガス量を、基準年度の平成25年度より令和2年度において、75.7t削減した。 （環境省が発表する数値を使用しているため、実績の年度がずれている）	環境課
◆	御前崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の事務事業から発生する温室効果ガス排出量を削減します。	御前崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、エコアクション21の認証を受けるなどして、市役所事務事業の効率化を進め、市の事務事業から発生する温室効果ガスを平成30年度から7%削減した。	環境課
◆	市の地球温暖化防止に関する取り組みの公表とPRを行います。	ホームページにおいて、環境活動レポートを公表した。	環境課
◆	市の事務事業についてエコアクション21に基づく取り組みを推進します。	エコアクション21を全庁（病院、指定管理等を除く）で取組み、外部審査を受審、内部監査を実施した。外部と内部審査の指導事項を踏まえ、より良い取り組みとなるよう、各課へ指導した。	環境課
◆	市が所有する施設についてエコアクション21への参加を拡大します。	対象施設の拡大について指定管理施設について検討した。	環境課
◆	ISO14001、エコアクション21（自治体イニシアティブ・プロジェクト）の事業者への導入を支援します。	エコアクション導入セミナーを牧之原市と共催で参加募集をしたが、参加企業はなかった。	環境課
◆	市民の取り組みの強化月間（6月環境月間、8月食中毒防止月間、10月食品ロス月間、12月不法投棄防止）を設け、キャンペーン等を行います。	6月の環境月間には、市立図書館や市内小学校図書室を利用した関連図書の展示を行い、8月の食中毒防止月間、10月の食品ロス月間には広報への情報提供・チラシの配布・懸垂幕を掲げるなどを行った。更に10月には食ロス講演会を開催した。12月の不法投棄防止月間には、不法投棄パトロールを行った。	環境課
◆	オゾン層保護法、家電リサイクル法、フロン排出抑制法、自動車リサイクル法に基づく取り組みを、家庭や事業所に対し周知します。	市民からの電話での問い合わせや、エコアクション21の取組み、環境出前講座時に、各種法に基づく取組みを家庭や事業所に周知した。	環境課
◇	御前崎市エネルギービジョンに基づき、総合的なエネルギー施策を推進します。	引き続きエネルギー政策を推進する。	エネルギー政策課

②省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの導入・促進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	家庭・事業所での二酸化炭素の排出削減に向けて省エネ情報や事例などの提供を行います。	省エネに関する情報収集を行った。	エネルギー政策課
		エコアクション21の各課推進員を通じて全庁に省エネ情報を提供した。	環境課
◆	エネルギーに関する教育・学習機会や情報提供の充実を図ります。	市内小学生を対象に発電所見学を実施した。	エネルギー政策課
		中部電力浜岡原子力発電所と連携を図り、小中学校においてのエネルギー教育を実施した。省エネについても考える機会となっている。	学校教育課
◆	二酸化炭素排出量の多い市の施設から優先的に省エネ診断及び改修を行います。	省エネレポートを作成し、施設所管課へ配布した。	財政課
		前々年度及び前年度との電機使用量の比較資料を作成し、各地区センターへ共有した。市の財政状況が非常に厳しい中で、二酸化炭素排出量の多い市の施設から優先的に行う余裕はない。	各課
◆	市の施設へのLED照明の導入、高効率空調（インバーターやヒートポンプ式の空調設備）の導入、燃料転換、建築物の省エネ化、上下水道等の温室効果ガス排出抑制策、ESCO事業の検討などを行います。	令和4年度設備更新なし。入替時にはLED照明、高効率空調等の導入を検討する。	財政課
		改修時等、少しずつでもLED化を進め、その他にも導入を検討している。予算化に向けての検討はしたが、市の財政状況が非常に厳しく、全てを実施する事は現状では非常に難しいとの結論で検討は止まっている。	各課
◆	道路照明灯や公共施設照明灯のLED化を図ります	令和4年度設備更新なし。入替時にはLED照明、高効率空調等の導入を検討する。	財政課
		新規設置及び修繕の際、LED照明を導入している。また、少しずつでもLED化を進めている。	各課
◆	家庭における二酸化炭素の排出削減・抑制のため、うちエコ診断などを環境月間やイベントなどで普及します。	御前崎市産業祭において、ゴミの分別体験ゲームを実施し、周知を図った。	環境課
◆	家庭からの使用済みや期限切れの食用油を回収した後に、回収した食用油を民間企業において精製し、軽油の代替燃料（バイオ・ディーゼル燃料）として利用するように、リサイクルを推進します。	民間企業において廃食油を精製し、バイオディーゼル燃料として利用するため、ホームページや班回覧を通じて、市民に廃食油の回収を呼びかけ、5660回収した。	環境課
◆	地域産業での再生可能エネルギーの活用を図ります。	公共施設において、電力スマート利用システムの構築可能性調査を実施した。	エネルギー政策課
◆	次世代住宅（スマートハウス、ZEH）の普及を図ります。	情報集を行った。	エネルギー政策課
◆	海洋エネルギー活用や小水力発電など、新たなエネルギーシステムの開発を検討します。	情報集を行った。	エネルギー政策課
◆	公共施設や観光施設への再生可能エネルギーの積極的な導入を図るとともに、その具体的な効果を発信します。	令和4年度は該当がなかった。	エネルギー政策課

◆	太陽光発電や風力発電に伴う無秩序な開発を防ぐため、ガイドラインの周知や指導などにより、再生可能エネルギーの導入の適正化を図ります。	条例により適切な指導を行った。	エネルギー政策課
◆	自家消費型の再生可能エネルギーや蓄電システム、次世代自動車の活用などにより、低炭素で災害に強いエネルギーシステムの導入を図ります。	令和4年度は該当がなかった。	エネルギー政策課
◆	新エネルギー・省エネルギー機器の設置を推奨します。	新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金により、導入促進を図った。	エネルギー政策課
◆	全国の実証実験の事例などを踏まえて、環境負荷の小さい超小型モビリティ（電気自動車）の普及を図ります。	令和4年度から新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金の対象にした。	エネルギー政策課
◆	住宅のリフォームによる省エネ化・長寿命化などを推進します。	85件の住宅リフォームに関する申請を受け付け、予算限度まで事業を執行した。	都市政策課

③環境負荷の少ない交通の普及

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◆	イベント時に公共交通機関の利用を推奨します。	市外の研修において公共交通機関を利用した。状況により、職員で車の乗り合わせをしたり、参加者へ車の乗り合わせをお願いする等した。	各課
◆	市単独及び周辺自治体と共同で、自主運行バスの運転を行います。	自主運行バスや地域協働バスの運行を実施した。	企画政策課
◆	交通結節点やバス停周辺の整備を行い、持続性に配慮した運行サービスを検討しバスの利用促進を図ります。	バスの利用促進を図ることに取り組んだ。	企画政策課
◆	地域の特性に応じた持続可能な移動手段の確保を図ります。	移動手段確保のため、自主運行バスや地域協働バスの持続的な運航を実施した。	企画政策課
◆	安全で快適な歩行者空間を確保します。	市道計6路線の歩道の整備を行った。 避難路整備のため、歩道の有効幅員を確保するのに必要な検討、事業執行を行った。	建設課 都市政策課
◆	環境負荷の軽減に配慮したエコドライブを推進します。	エアコンの使用を控える、アイドリングストップ、速度やブレーキのタイミングに注意する等、エコドライブに繋がる運転が出来た。定期的な点検整備を行い、エンジンオイル・オイルフィルタ・エアークリーナエレメントなどの適切な交換で燃費改善に寄与した。研修等で乗り合わせを推進している。エコドライブを実施する為に、ゆとりをもった行動を推奨している。	各課
◆	公用車には燃費効率の良いハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車などの次世代自動車の積極的な導入を図ります。	令和4年度は車両の購入がなかったが、公用車買い替え時には、エネルギー効率の良い次世代自動車の導入を検討する。ガソリン車だが燃費性能のよい車種を選定して購入した。	各課
◆	通勤は、自転車、徒歩を推奨し、環境に対する意識啓発を行います。	デスク内インフォメーションにて職員に周知した。	総務課

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。



10 環境を知る・学ぶ・活動する

■ 数値目標と評価

環境指標	アースキッズ事業参加人数			
定義	小学4年生を対象として実施しているアースキッズ事業に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	891 人	
	R4	実績	1,325 人	
		目標	1,024 人	
		評価	目標達成: 達成率 129.4%	
	R6	中間目標	1,091 人	
R11	最終目標	1,291 人		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	アースキッズ事業に加え市独自の事業として小学5年生を対象に講座を実施し、将来を担う子供たちの主体的な取組となるように地球温暖化、ごみ分別について説明した。			

環境指標	アカウミガメ産卵観察会参加者数			
定義	アカウミガメ産卵の観察会に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	94 人/年	
	R4	実績	100 人/年	
		目標	231 人/年	
		評価	★: 達成率 43.3%	
	R6	中間目標	300 人/年	
R11	最終目標	500 人/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	数年コロナ禍で中止しており、感染症対策を踏まえ久々の開催となった。目標を達成することができなかったが、引き続き周知していく。			

環境指標	アカウミガメ放流観察会参加者数			
定義	アカウミガメを放流する観察会に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	165 人/年	
	R4	実績	0 人/年	
		目標	255 人/年	
		評価	★: 達成率 0%	
	R6	中間目標	300 人/年	
R11	最終目標	500 人/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	ウミガメの上陸産卵数や卵の数が減少しており、ウミガメ保護の観点から、放流観察会という事業を中止している。			

環境指標	磯の生物観察会・参加者数			人/年
定義	磯の生物観察会に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	32 人/年	
	R4	実績	0 人/年	
		目標	37 人/年	
		評価	★:達成率 0%	
	R6	中間目標	40 人/年	
R11	最終目標	50 人/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	実施なし。			

環境指標	青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」参加者数(小学生)			人/年
定義	御前崎クエストに参加した人数(小学生)			
数値目標	H30	策定時	27 人/年	
	R4	実績	50 人/年	
		目標	36 人/年	
		評価	目標達成:達成率 138.9%	
	R6	中間目標	40 人/年	
R11	最終目標	50 人/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	御前崎クエストという事業自体の知名度が上がってきており、それに伴い目標の達成も実現することができた。			

環境指標	青少年リーダー育成事業リーダー数			人/年
定義	御前崎クエストのリーダーの数			
数値目標	H30	策定時	8 人/年	
	R4	実績	13 人/年	
		目標	13 人/年	
		評価	目標達成:達成率 100%	
	R6	中間目標	15 人/年	
R11	最終目標	20 人/年		
担当課	社会教育課			
R4 評価コメント	地域団体への周知が実を結び、高校生の事業参加が増加傾向にあり、それに伴い目標の達成も実現することができた。			

環境指標	出前講座回数			回/年
定義	温暖化防止・ごみ分別法等の講演会や説明会を開催した回数			
数値目標	H30	策定時	0 回/年	
	R4	実績	7 回/年	
		目標	3 回/年	
		評価	目標達成:達成率 233%	
	R6	中間目標	5 回/年	
R11	最終目標	10 回/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	令和4年度は町内会6件、中学校1件、合計7回出前講座を実施し、目標を達成した。			

環境指標	CATVなどを活用した情報発信回数			
定義	CATVによる文字放送または音声告知を依頼した回数			
数値目標	H30	策定時		1件/年
	R4	実績		3件/年
		目標		2件/年
		評価		目標達成:達成率 150%
	R6	中間目標	2件/年	
R11	最終目標	4件/年		
担当課	環境課			
R4 評価コメント	令和4年度は環境月間や年末年始のごみの出し方の音声告知、CATV放送でゴミの分別動画の放送を実施し目標達成できた。			

【評価(4段階)】 令和4年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上

■市の取り組み (2022年度の実績)

①環境教育・環境学習

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	総合的な学習の時間などを利用し、学校における環境教育・環境学習を推進します。	アースキッズや環境出前講座をはじめ、各教科での学習の中で環境についての授業を工夫して行った。	学校教育課
◇	環境学習のための施設やスペースを設けます。	環境課や図書館司書の協力を得ながら、環境月間は学校図書館に環境に関する本のコーナーを設置するなどした。	学校教育課
◇	環境に関する講演会や観察会などを開催します。	エコアクション21の取組において庁舎内で環境に関する説明会を行った。講師を招いての食品ロス講演会を開催した。	環境課
		ウミガメ産卵観察会と称して、海岸環境の現状やゴミが引き起こすウミガメの被害について、参加者に啓発を行った。自然科学講座や野菜づくり講座を開催し、幅広い世代に自然や環境について触れる機会を作りをした。蛍の放流を行い、地域の自然について学べるように努めた。ウミガメ保護を目指した海岸清掃を行うことで、環境教育を推進している。クラブ活動で環境への関心を高める為、ビーチクラフトや流木アートなどを扱う活動をした。	教育委員会
◇	家庭での地球温暖化防止の取り組みを進める「アースキッズ事業」を推進します。	令和4年度は、市内全5小学校が環境学習事業を実施した。	環境課
		浜岡東小でアースキッズのレギュラー、白羽小でライトをそれぞれ実施。その他の3つの小学校では環境出前講座を実施した。技術・家庭科等の授業で、家庭でできる温暖化対策を扱い啓発をしている。	教育委員会
◇	環境保全センターや浄化センターなどの見学を受け入れます。	環境保全センターにおいて市内の小学校の見学を受け入れた。	環境課
		白羽小学校の社会科見学を予定していたが、天候不良のため、中止となった。	上下水道課
◇	県と連携して、地球温暖化防止推進員の人材育成を推進します。	静岡県地球温暖化防止活動推進員と連携し3小学校で環境出前講座を実施した。	環境課
◇	市が主催する出前講座を行います。	市内6町内会にて出前講座を行った。	環境課
◇	市職員に対して環境に関する研修を実施します。	脱炭素社会実現に向け、環境省職員による研修を行った。	環境課
◇	アカウミガメや磯の生物の観察、マダ	ウミガメ産卵観察会を実施した。	社会教育課

	イの放流体験などを活かして体験学習の機会を提供します。	7月に小学生の海洋体験学習の一環として、マダイ 500 尾の放流体験を実施した。	農林水産課
◇	国、県や市の指定天然記念物を知り、学ぶ機会を提供します。	御前崎市文化財講座の文化財巡りで、国指定天然記念物であるアカウミガメの子ガメやウミガメ産卵地などを見学した。	社会教育課
◇	青少年リーダー育成事業を通じ、磯の生き物観察や竹林整備など環境を知り、学ぶための体験学習の機会を提供します。	海岸散策や竹林整備等の体験を通じて、環境について知る機会を設けることができた。	社会教育課

②環境保全活動の推進

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	市民一人ひとりが環境保全の責任を自覚し、自ら行動するよう啓発活動を行います。	6町内会、スポーツ少年団、浜岡中学校、エムネット東遠へごみ分別の講座を行い、環境意識の向上を促した。	環境課
◇	地域の清掃活動、河川・海岸の環境美化活動などへの支援を行います。	清掃ボランティアに対し、環境保全センターへの搬入手数料を免除することにより支援を実施した。	環境課
		道路・河川愛護団体へ計 32,499,000 円の補助を実施した。	建設課
◇	森の管理を体験的に学ぶため、青少年リーダー育成事業の一環として竹林伐採体験を実施します。	竹林整備及びその竹を使ったワークショップを実施することができた。	社会教育課

③環境情報の積極的な提供と環境情報拠点づくり

	環境基本計画の取り組みの内容	2022(令和4)年度実績	担当課
◇	環境保全、公害、廃棄物などの情報をホームページや広報紙、CATVなどで提供します。	環境報告書の掲載を行い、ホームページ等で広報した。	環境課
◇	エコアクション 21 環境活動レポートを公表します。	令和4年10月にデスクネッツやホームページにて、環境活動レポート(第10版)を公表した。	環境課
◇	各地区の環境情報を、ホームページなどで提供します。	市の環境保全対策審議会に、市の公害について、年2回報告をした。環境課に寄せられた苦情については、エコアクション 21 の環境経営レポートの中で公表した。	環境課
◇	環境に関する資料の充実や情報の発信に努めます。	選書基準に即して資料を購入するとともに蔵書の見直しを行い、新鮮で正しい情報の提供に努めた。	図書館
◇	環境月間を活用し、環境についてPRを行います。	環境月間に合わせ、5/27~6/22に関連図書の特集を実施した。	図書館

◆印は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に位置付けている取り組みを示しています。